

意見・要望等について

- ・Q1 国・県共に書類のデジタル化が進み押印の必要な書類は極力少なくなっている
ので同じくご対応いただきたい
- ・A1 公社の規程が改正され次第、対応を進めたいと思います。
- ・Q2 企画提案型利用間伐について、契約締結後に測量野帳と図面を送付するの
ではなく、募集時に提案者が望めば資料を交付してほしい。(境界等の確認の為)。
- ・A2 事業説明会、9 月発送の事業参加申込依頼に添付資料として配布している「図
面等請求書」に記載して頂ければ送付します。
- ・Q3 分収林事業について、公社側からの指示事項も口頭ではなく工事打合簿でい
ただきたい。
- ・A3 共有項目ですので、工事打合簿で対応していきます。
- ・Q4 測量時の杭の種類の変更をお願いしたい。測量業務を緑の雇用研修生や若い
職員にさせているが、面積が増えると現場で持って歩く杭の量が増え、足元の悪
い中作業してもらうのに重たくて危険、かぐや杭等軽量化してほしい。
- ・A4 公社では境界杭の明確化のため、廃プラ境界杭デルタミニ 30 を指定杭としてい
ますが、大面積による多数の測量杭が必要な場合、重く嵩張ることから「かぐや杭」
の使用を可能とします。
ただし、単価についても変更します。
- ・Q5 公社の単価の歩掛の根拠を知りたい。
- ・A5 森林整備事業算出基準、民有林造林事業標準単価算出基準、林業技術ハンド
ブック等を参考にして、公社独自の造林事業標準歩掛表を作成しています。
- ・Q6 標準歩掛の見直しについての検討結果がわかればお聞きしたい。
- ・A6 令和 5 年 3 月に歩掛に関する情報提供を依頼した 20 事業体のうち 7 事業体か
ら回答をいただきました。
その結果、大きな差異が無かったことから現状のままとするが、利用間伐事業の
作業工程にグラップル集材が多く見られたことから、歩掛を新規に導入することに
しました。